

「C」まであと1か月

128号でお知らせしたとおり、現在は学力向上のRPDCAサイクルの「D」の時期（課題解決へ向けた集中的な取組）にあたり、次年度の始めには「C」にあたる全国学力・学習状況調査とふくしま学力調査が予定されています。

年度末を迎え、学級によっては教科書の学習内容を終え、進級後の順調なスタートに向けて、児童生徒の実態と残り時数との兼ね合いを考えながら、右のような「学習のまとめ」に取り組まれていると思います。

- 教科書を読み返す
- 教科書の巻末問題に取り組む
- ワークやドリルにもう1回チャレンジする
- まとめ用のプリントに取り組む

先生方が担当されている学級には、「学習のまとめ」のときに、早く解き終わってしまう子や、「知識・技能」の定着は十分なので「思考力・判断力・表現力等」を伸ばしたい子はいませんか？

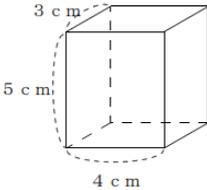
全国学力・学習状況調査の結果、例年、福島県は「活用力」に課題があるということが明らかになっており、南会津域内も同様の傾向がみられます。

県教育委員会では、課題の克服を目指して、小学校4年生から中学生を対象にした「活用力育成シート」を作成しています。

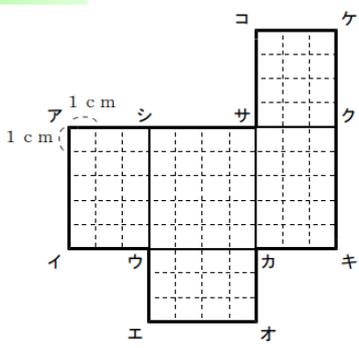
より個別最適な学びが実現できるように、「活用力育成シート」を日常的に使っている学校があります。ある学校では、たくさん印刷して決まった場所に置き、児童生徒が自分の実態に合わせてシートを選び、すきま時間を利用して取り組めるようにしています。基本は自己採点ですが、必要に応じて先生（担任とは限りません）が解説をしています。

第2回 4学年算数科より

〈図1〉



〈図2〉



展開図〈図2〉を見て、しんじさんたちが次のように話しています。

しんじさん 展開図ができたよ！

あれ、この展開図は、面が5つしかないから、長方形があと1つ必要だよ。

ゆみさん

みずきさん

そうだね。たてと横の2つの辺の長さが① cmと② cmの長方形が必要だね。

(1) ① と ② にあてはまる数を書きましょう。

①	②
---	---

「活用力育成シート」には、小・中学校の先生方が「自分が担任している児童生徒の様子」をもとにして作成した良問がたくさんあります。対象は4年生以上ですが、3年生でも解ける問題があり、学年の枠にとらわれずに使えるシートがたくさんあります。

令和4年度も数日を残すのみとなりました。1年間の締め括り「学習のまとめ」として、「活用力育成シート」を御活用ください。

R：「全国学力・学習状況調査」「ふくしま学力調査」の結果をもとにした分析（8～9月）

P：分析結果をもとにした自校の課題解決に向けた計画（10月）

D：課題解決へ向けた集中的な取組（11～3月）

C：次年度の「全国学力・学習状況調査」、「ふくしま学力調査」による評価（4～5月）

A：評価をもとにした計画の見直し（5～7月）

